

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請(1号機原子炉格納容器窒素封入ライン他撤去工事等)に係る面談
2. 日時：令和2年6月3日(水) 10時30分～13時00分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁 原子力規制部  
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
知見主任安全審査官、松井安全審査官  
検査グループ 専門検査部門  
宮崎上席原子力専門検査官  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 担当6名(テレビ会議システムによる出席)

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、本年4月22日に申請のあった実施計画の変更認可申請(1号機原子炉格納容器窒素封入ライン他撤去工事等)について、本年5月29日に補正申請があり、資料に基づき補正申請の内容及び前回面談での指摘について以下の説明があった。
  - ✓ 補正申請の概要
    - ・震災前から使用している1号機使用済燃料プール冷却ポンプ用電動機(屋内仕様)について、設置場所に開口部があるため、設備の信頼性向上を目的に、屋外仕様に取り替える。
  - ✓ 窒素封入ラインの切離し作業の手順、被ばく低減対策の内容、計画線量等
- 原子力規制庁は、上記を確認し、以下の対応を求めた。
  - ✓ 冷却ポンプ用電動機の取替えについて、電動機変更により既設電動機から重量が増加することで耐震評価を再評価し、算出応力は許容応力以下であったとしている。再評価に際し、使用する機器の運転時質量(m)として、電動機変更による増加分に既存評価では含めていなかったベース重量も加算していることから、評価の考え方を含め詳細について説明すること。
  - ✓ 窒素封入ラインの切離し作業において、被ばく低減対策として設置する遮蔽小屋の構造、設置場所及び作業に際しての作業員1人当たりの想定される最大被ばく線量値を示すこと。

#### 6. その他

資料：

福島第一原子力発電所1号機FPCポンプの電動機取替に関する補足説明資料  
福島第一原子力発電所1号機原子炉格納容器窒素封入ライン(不活性ガス系)撤去について  
福島第一原子力発電所1号機原子炉格納容器ガス管理設備凝縮配管室空調機取替について